

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | |
|-------------------|--|-----------------------|-----------|-----------------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
| 一般 | 10 | 05 | 09 | 104590 | 展示活動事業 |
| 総合計画 | 分野 | 地域づくり | | | |
| | 政策 | 3-5 | 芸術文化の振興 | | |
| | 施策 | 3 | 文化財の保護と活用 | | |
| 目的 | 博物館事業の展示活動 | | | | |
| 対象 | 市民 | | | | |
| 意図 | 展示会の開催により市民が普段目にする事が無い歴史的資料や美術作品を紹介し、郷土の歴史や文化財への興味と関心を高める。 | | | | |
| 事業概要 | …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | |
| ○資料収集活動事業 | | | | | |
| ○調査研究活動事業 | | | | | |
| ○教育普及活動事業 | | | | | |
| ○展示活動事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別展 「発明王エジソン展」 7月16日～9月4日 ・テーマ展 「多田等観展」 6月4日～7月3日 「ふれてみる歴史と暮らし展」9月17日～11月20日 「花巻人形展」 2月11日～5月7日 ・共同企画展「南部杜氏展」 12月3日～1月29日 | | | | |
| 市民参画の有無 | 〔 対象外 〕 | | | | |
| 市民協働の形態 | 共催 | | | 実行委員会・協議会 | 事業協力・協定 |
| | 後援・協賛 | | | 補助・助成 | 委託 |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | 単位 | 区分 | 27年度(実績) | 28年度(実績) | 29年度(計画) |
| ① 展示会開催回数 | 回 | 計画 | 6 | 5 | |
| | | 実績 | 7 | 5 | |
| ② | | 計画 | | | |
| | | 実績 | | | |
| ③ | | 計画 | | | |
| | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | 単位 | 区分 | 27年度(実績) | 28年度(実績) | 29年度(計画) |
| ① 博物館入館者数 | 人 | 目標 | 20,000 | 20,000 | |
| | | 実績 | 18,440 | 19,192 | |
| ② | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |
| ③ | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | <input type="radio"/> | 概ね目標値どおり | <input type="radio"/> | 目標値より低い |

| | |
|---|---|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | |
| 子どもから大人まで誰もが知っている世界の発明王トーマス・エジソンの偉大な功績について、国内最多のエジソンコレクションを誇るバンダイミュージアムの協力のもと発明品を中心に展示会を開催し、あわせて花巻青少年少女発明クラブの活動を紹介したことが市民の関心を引き、入館者の確保につながった。 | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | |
| 世界的に著名な発明家の生い立ちや生涯を通して魅力あふれる人間像を伝えることができた。同時に花巻が世界に誇る発明品を展示したことで、地域が誇る輝かしい歴史遺産に光を当てることができた。 また、あらためて館収蔵資料の見直しを図り、実際に手に取ることができる資料や、それを活かして昔の暮らしを追体験できる展示を試みたことで、地域の歴史や生活文化を学ぶ有効的な試みとなった。 世界の偉人の息づかいが感じられる歴史的な資料から、より身近な地域文化まで幅広く取り上げたことで、総括的に、年齢を問わず世代間の交流を図る上でも、より良い学習機会を提示できたと考える。 | |

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|--------|
| 一般 | 10 | 05 | 09 | 104590 | 展示活動事業 |

単位：千円

| | | 27年度 決算額(A) | 28年度 決算額(B) | 29年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|----------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 8,088 | 7,788 | | △ 300 |
| 財源 内訳 | 国・県 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | 146 | | | △ 146 |
| | 一般財源 | 7,942 | 7,788 | | △ 154 |

| | | | |
|------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------|
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度繰返 | <input type="checkbox"/> 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------|

部重点施策における目標
文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯
博物館は、市民に郷土の歴史・文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会・各種講座及び体験学習を展開している。

事業概要
 資料収集活動事業
 調査研究活動事業
 教育普及活動事業
 展示活動事業
 ・特別展 「発明王エジソン展」 7月16日～9月4日
 ・テーマ展 「多田等観展」 6月4日～7月3日
 「ふれてみる歴史と暮らし展」 9月17日～11月20日
 「花巻人形展」 2月11日～5月7日
 ・共同企画展 「南部杜氏展」 12月3日～1月29日

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
 ・資料収集や調査研究活動を充実させ、地域の文化的資源の保存と調査研究の推進を図る。
 ・来館者へのアンケートを実施し、知的好奇心を充足する展覧会の把握に努める。
 ・他館との共同開催や全国巡回展を誘致するなど、展覧会開催のコスト削減を図る。
 ・コミュニティFMやテレビ局、新聞社の取材依頼を通じて、博物館活動のPRを行う。
 ・博物館の取り扱い分野以外の自然科学系分野の企画展示、近現代の歴史展示を望む声がある。

担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原克仁 内線 32-1030 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

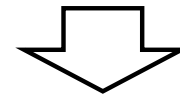
花巻市博物館が行う4つの活動

| | | |
|--------------|----------|----------|
| ①資料の収集及び整理保管 | 表装・研磨費 | 442,800円 |
| | 消耗品費 | 235,872円 |
| | 博物館資料購入費 | 73,440円 |

| ②資料の展示公開 | 展覧会名 | 開催期間 | 内訳 (直接経費) | 内訳 (共通経費) |
|----------|--------------------|------------|--|--|
| | 特別展『エジソン展』 | 7/16～9/4 | 作業員賃金 294,510円 謝礼金 89,000円 資料借受旅費 82,580円 講師旅費 41,920円 パンフレット購入費 103,680円 チラシ等印刷費 368,280円 印刷物発送費 32,640円 資料運搬費 2,674,368円 展示造作費 352,080円 関連事業費 50,000円 計 4,089,058円 | 広告料 108,000円 案内看板費 103,680円 ケース修繕 676,080円 照明器具修繕570,888円 PCソフト移管477,360円 消耗品費 657,344円 |
| | テーマ展『多田等観展』 | 6/4～7/3 | 次年度調査旅費 110,780円 (等観展) ケース移動費 242,352円 | |
| | テーマ展『ふれてみる歴史と暮らし展』 | 9/17～11/20 | | |
| | テーマ展『花巻人形展』 | 2/11～5/7 | | |

③調査研究及び情報の提供

④教育普及



市民文化の向上発展
 ふるさとの特色ある伝統文化を継承しながら、親しみ理解する生涯学習活動に貢献する。